



Title	岸総理大臣第1次訪米関係一件 岸・マッカーサー予備会談（於東京） 第1巻(岸・マッカーサー会談（昭三二・三・二二） 外務省外交史料館レファレンス番号：nd)
Author(s)	-
Citation	平成30年度外交記録公開 公開日：2018年12月19日 外務省外交史料館管理番号：A'.1.5.0.4-1 CD・DVD番号：H30-001
Issue Date	
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/44167
Rights	外務省外交史料館所蔵資料

山・マフカーサ合談 (昭三三三三三)

次頁傳

此は
水

極秘

岸大臣マツパーサ大使会議記録

— 大臣訪米の時裁の件

三二、三、二二（塘記）

三月二十二日、岸大臣は、総理官邸に、マツパーサ
在米米大使の来訪を求め、二時十分から約二十分

間、訪米問題につき会談し七（塘通款）。会談の
要旨は左のとおり。

大臣—先日、五月七日の訪米の招請を頂い
たが、この時機は口会開会中に在り、口内請願

上通を下さいと思ふ。自分としては六月中旬を

<p>米例に好都合との自信はなきも。</p>	<p>米大使 — 五月末は如何。五月末や六月初に</p>	<p>大臣 — 六月初めに以降ということはいい。</p>	<p>きんい。</p>	<p>ももう少し中へある時機、好都合を伺ひせて頂</p>	<p>大統領も種々の多忙ゆえ。六月中旬というより</p>	<p>じ、下きよ限りのことをしたがい、アイセンハラア</p>	<p>米大使 — 総領の訪米は種々の存否義と存</p>	<p>好も好都合とすべし。貴国側の好都合如何。</p>
------------------------	------------------------------	------------------------------	-------------	------------------------------	------------------------------	--------------------------------	-----------------------------	-----------------------------

大臣——六月中旬が最も好都合と言ったが、米側
 の都合もあることゆえ、五月末にしようとも良いと思ふ
 米大使——新聞に伝ふところでは、訪米の目的
 は、他々の外交案件の交渉と云ふこととよく、左
 い見地からの意見の交換と云ふことのようにだが。
 大臣——そのとおり。日米や記者会見にそのま
 うに言明した。他々の案件を交渉する機会は別
 にあるから、自分は大抵高松から日米間、基本的
 問題については米首脳と話し合ひたいと思つてゐる。

米大使 — 非常に結構と思ふ。 今日、時機のお

話、早速本日に取次ぶ。 回答あり次第即返す

す。 本日もバーニエと今談を取り込ん

かもし水子い加。

最後の、米大使より、

今日の会談、発表ぶりは何と、別添を
し、大臣御承諾。

附記、会談直前、霞ヶラフの要請にたい、総理官野

に、大臣記者会見。 別添発表発表にたい、話され、是

体的に訪米時機如何や、他の質問には答へず。

片巻 表 西女 日記

アメリカ大使の来訪を止め、一般的女子院

命いさしたか、^{（此）}本年中に訪米することの可能

性についてのことも意見の交換をやりつた。

(此) Later this year ... ことにより表現した。